

安全衛生方針

この文書は我が社の安全衛生方針を示すものである。

安全衛生に関する全体的、最終的責任者：

安全衛生方針の日常的運営責任者：

会社名
事業者名

全般的な方針	責任者の職名／氏名	実施事項の詳細（内容に応じて様式を変更）
業務上の事故と疾病の防止及びリスクの適切な抑制		
従業員の職務遂行技能の確保に必要な教育訓練の実施		
日常的に従業員の安全衛生状態に留意し、疾病の生じないように注意、指導		
火災発生時の避難など緊急時手順の作成及び火災時のリスクアセスメントの実施		
職場を安全で健康的な状態に保ち、安全な設備、機器、機械、貯蔵設備、原料を使用する。		

安全衛生法ポスターの掲示			
救急箱と事故記録簿の設置 業務上の事故と疾病の事故報告規則 (RIDDOR) による届出			
事業者の署名		日付	
見直し、実施、改訂責任者		周期	月数（作業を変更したときは即時）

従業員数5名以上の事業者は、安全衛生経営方針及びリスクアセスメントを文書にしなければなりません。
詳細及びリスクアセスメントの実施例については、HSEのリスクのサイト参照

HSE09/09発行のリスクアセスメント、安全衛生方針組み合わせテンプレート

リスクアセスメント

すべての事業者がリスクアセスメントを実施する必要がある。従業員数5名以上の事業者は、安全衛生方針及びリスクアセスメントを文書にしなければなりません。

実施例を利用したリスクアセスメントを始めましょう。この内容は、一般的に存在する危険有害要因を対象とした「事務所を用いる事業」の例によるものです。あなたの職場で現実に存在する危険有害要因を特定することにより、あなたの職場に適した内容の表を完成させましょう。このテンプレートを印刷、保存しておき、必要に応じて、見直しと更新をしてください。HSEのウェブサイトに掲載の実施例(www.hse.gov.uk/risk/casestudies)を参考にしてください。あなたの職場に適した例が見つかることでしょう。

会社名：

危険有害要因	誰がどのように被災するか？	すでに実施している事項	さらに実施が必要な事項	誰が実施するか？	いつ実施するか？	完了した日付
つまづき、転倒	従業員、外来者が何かにつまづいたり、こぼれたもので滑る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般的整理、整頓 ・ 照明の確保（階段を含む） ・ 床にコードを這わさない。 ・ 通路の確保、配達物をすぐに収納する。 ・ 毎日、夕刻に掃除をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員の食事場所の清潔の一層の向上（こぼれた場合の清掃） ・ 2階の床タイルの破損した部分の修理 	従業員全員 管理者	今から 月 日	今から 月 日

リスクアセスメント見直しの日付： (通常は、1年以内、作業を変更したときは即時)

産業別/職種別の情報については、HSEのウェブサイトを参照してください。

従業員数5名以上の事業者は、安全衛生方針及びリスクアセスメントを文書にしなければなりません。詳細及びリスクアセスメントの実施例については、HSEのリスクのサイト参照